



学力調査を各学校の学力向上に向けた取組に生かすために

5月27日に、令和3年度全国学力・学習状況調査が実施されました。学力調査は、全ての教育委員会・学校・児童生徒に対するメッセージとなっています。各学校の学力向上に向けて、学力調査を有効に活用しましょう。

学力調査を活用した校内研修に取り組みましょう —「問題の活用」と「結果の活用」—

問題を活用した校内研修例

調査問題には学習指導要領が求める資質・能力が具体的な設問として示され、問題場面の設定の仕方自体が学習活動の例示になっています。このことを生かし、具体的な授業場面や教材作成等の参考にすることができます。



授業づくり研修1

○教員が調査問題を解き、出題の意図を確認することで、各学年で児童生徒に身に付けさせたい力を把握し、共通理解する。そして、その力を育成するための単元構想や授業展開を考える。(A③C)



授業づくり研修2

○「特徴的な問題」の「指導のポイント」や、「授業アイデア例」に紹介されている授業例から、授業設計をする。具体的な授業場面での発問を考えたり、模擬授業を行ったりする。(A③C)

教材づくり研修

○調査問題を参考に、テストの作問について話し合ったり、授業等で使用する教材の内容や家庭学習の課題を検討したりする。教科部会や学年部会等で研修する。(A③C)

結果を活用した校内研修例

各教科や質問紙調査の結果から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てることは、各学校の学力向上の取組に大変有効です。児童生徒のよさや課題に応じた効果的な手立てにつなげましょう。



授業づくり研修

○各教科の結果から、よさや課題について把握・分析する。課題が見られた領域等について、授業改善のポイントを話し合う。(A③C④)
→国立教育政策研究所が発行する「報告書」の「学習指導に当たって」等も参考になります。

教材づくり研修

○各教科等の結果を踏まえて、テストの作問について話し合ったり、教材等の内容を検討したりする。教科部会や学年部会等で研修する。(A③C④)

児童生徒理解研修

○児童生徒質問紙の調査結果から、学習状況等について、自校の児童生徒のよさや課題を読み取る。その要因を考え、よさについて学校、児童生徒、保護者地域と共有したり、各学年各教科における今後の手立てを検討したりする。(④)



研修例で示されている記号は、その研修で活用できる資料を表しています。



学力調査の活用 に役立つ提供資料等

- ・各資料は、学力向上推進チームHPに掲載しています。(NOCのみ接続可)

A 特徴的な問題

《6月配布、HP掲載》

調査問題のうち、学習指導上重視すべき点や身に付けさせたい力を具体的に示すメッセージとなる問題を選んでいきます。

「学習指導上の留意点」から、授業改善のヒントをつかむことができます。

B 「特徴的な問題」の 設問別ワークシート

《7月HP掲載》

「特徴的な問題」で取り上げた調査問題を大問ごとにワークシートにしたものです。大問1題につき、10～15分程度で取り組むことができます。

C 対策のヒント

学力調査の結果、富山県において課題のある問題に関して、その概要や教科書の関連単元等をまとめた一覧表です。授業で問題を取り上げる際に参考になります。

国立教育政策研究所が学力調査の結果を踏まえて作成する「授業アイデア例」と合本にして発行する予定です。

《9月以降配布予定》

学 年	時 期	関連する主な教材
5年	4月	教えて、あなたのこと
5年	5月	きいて、きいて、きいてみよう
5年	10月	よりよい学校生活のために
6年	5月	聞いて、考えを深めよう
6年	9月	いちばん大事なものは
6年	5月	友達の意見を聞いて考えよう
6年	9月	話し合って考えを深めよう
6年	10月	町の未来をえがこう

教育情報コーナー

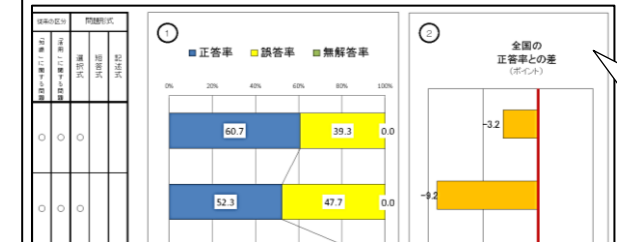
「第2期 富山県教育大綱」(R3.3月策定) ※県HP

《10の重要テーマ》

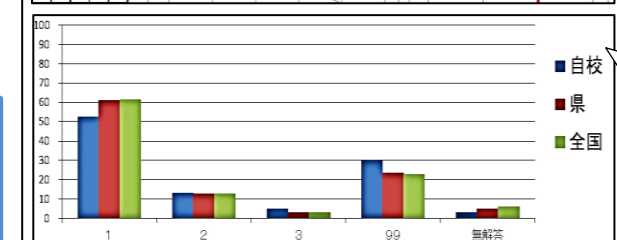
- プロジェクト学習(PBL)の推進
- ICTを活用した教育の推進
- キャリア教育の推進
- 働き方改革の推進
- 不登校児童生徒の教育機会の確保
- 少人数教育の推進
- 幼児教育、特別支援教育の充実
- 高等学校の特色化・魅力化
- 外国人児童生徒教育の推進
- データサイエンス教育の推進

D 我が校の学力・学習診断ソフト 《9月HP掲載予定》

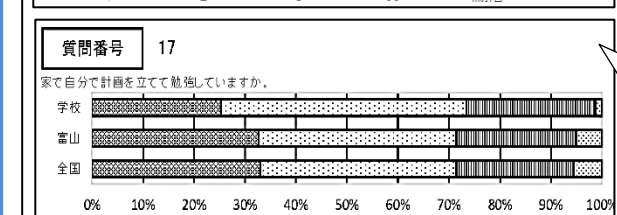
文部科学省から提供されたデータを読み込み、学力調査の結果をグラフ化できます。県や国の平均と比較しながら、児童生徒の実態を捉えることができます。



教科ごとに正答率を確認し、自校のよさや課題の把握につなげましょう。



解答類型グラフで誤答分析し、自校の課題に応じた指導につなげましょう。



質問紙結果を県や国の結果と比較し、学習状況を客観的に把握しましょう。

今年度の「質問紙調査」の特徴 (主なもの)

○児童生徒質問紙

- ・「ICTを活用した学習状況」の調査項目が充実し、2問が新設
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に関する取組状況についての調査項目が充実し、3問が新設

○学校質問紙

- ・指導に生かす評価に関する質問が新設
- ・「ICTを活用した学習状況」の調査項目が充実し、12問が新設
- ・学力調査の問題や結果の活用について、具体的な例を示しながら問う質問が新設